

悪女は美しき獣の愛に咲くの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	悪女は美しき獣の愛に咲くの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	悪女は美しき獣の愛に咲くを読んだことのある10代～50代の男女36名
調査期間	2025年8月1日～2025年8月5日 2025年8月20日 2025年10月29日 2025年12月31日 2026年1月3日 2026年3月18日 2026年4月29日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/akuzyohautukusikikemononoainisaku/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 悪女は美しき獣の愛に咲くを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

30代男性	4人
30代女性	1人
40代男性	7人
40代女性	18人
50代男性	6人
50代女性	0人

Q2: 悪女は美しき獣の愛に咲くの感想を教えてください。

『悪女は美しき獣の愛に咲く』1話	執事っぽいオジサマがカリナに話しかけられた際、仮にもやがて主君の伴侶となる女性相手だというのに名乗りもせず、ジロツと睨みつけてきたので、最初はイヤな感じの人だなと思ってしまいました。しかしすぐにカリナが震えているのに気付いて疑念を持ってくれたようだったので、彼こそがカリナに着せられた汚名をそそいでくれるのではないかという期待を持ちました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』1話	リシュアンとシャーロットのやることがえぐくて驚きました。カリナとの婚約破棄を正当化する為、まさか根も葉もない悪い噂を流しているとは。おかげでカリナは新たな嫁ぎ先のグラディウス家で酷い扱いを受けるようになってしまいました。到着早々執事や侍女の様子がおかしいとは思っていましたが、まさかこんなことまでしているとは。ノクトも完全に勘違いしているようですし、この誤解は早く消えて欲しいです。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』1話	グラディウス辺境伯邸で働いているメイドさんたちが、カリナに対してあからさまに冷たい蔑みの目を向けてきたため、グラディウス辺境伯本人からも罵倒されたり無視されたりするのではないかとハラハラドキドキしていたので、きちんと挨拶してくれた時はホッとしました。しかし悪女の噂はしっかり信じているようなので、はやくカリナはそんな子じゃないと気付いてほしいと思いました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』2話	カリナ曰くノクトはかなりのイケメンのようなので、彼に好意を抱く女性が登場してカリナを追い出そうとするのではないかと予想していましたが、セレイラが予想以上にカリナにストレートな敵意を向けてくるキャラだったので、カリナを排除するためにかなり酷いことをしてきそうだなと心配になりました。また、今のところ優しくそうなアルフレドも、心の中ではカリナに悪意を持っている可能性があるかもしれないと思いました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』2話	義母や妹からの根も葉もないうわさ、それをうのみにせず身辺調査が行われることになって本当によかった。一方でセレイラ存在は恐ろしいです。女の嫉妬心ほど怖いものはない。ケダモノ辺境伯なんて呼ばれ方をするノクトですが、そんな彼のことをこんなにも好きな相手がちゃんといたんですね。それなら二人でさっさと結婚してくれてたら問題なかったのですが、金持ちの結婚なんてそううまくはいきません。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』2話	噂話は義母たちが流したデマでしかないのに、それで襲われかけたり。と思ったら嫁ぎたくもない相手に嫁いだのに勝手に嫉妬心をむき出しにして攻撃してくるセレイラの悪意も受け止めなければならなくなったり。本当に大変です。そもそもは政略婚で生まれた女の子。大人たちの私利私欲に振り回され続ける彼女が不憫でしょうがない。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』3話	噂話に振り回されたものの、すぐにも気が付き本当のカリナに気が付いてくれたノクト。そこからの彼は優しくてキュンキュンしちゃいますね。ずっとずっと虐げられてきたカリナですから、こんな風にやさしさに触れられて本当によかった。これは惚れてしまいますよね。それにしても祝福名がない。現代日本で戸籍がないようなものでしょうか。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』3話	無理に襲ってきたノクトですが、ちゃんと謝ってくれたので好感度はかなり上がりました。破談に終わらせたいがゆえの苦肉の策だったわけで、ノクトの側にも事情はあったのですよね。カリナの人となり分かってくれて、それでも離れていかずやさしさを与え続けてくれる人に出会えてよかった。となるとこの結婚はむしろよかったことなのでしょう。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』3話	ちゃんと自分のことを理解してくれて、誤解せずきちんと向き合ってくれる人というのは、カリナにとって初めての出来事だと思います。周りにも味方がいない中、今までずっと頑張ってきたカリナにとって、これがどれだけうれしいことなのか。今まで冷たい態度を取ってきたノクトがちゃんとカリナを理解してくれて、読んでいるこちらもうれしくなりました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』4話	本当にノクトはとても格好いいキャラですね。カリナとのことをちゃんと考えて夫婦関係を良好にしていこうとしている姿にすごく好感が湧きました。表向きは結構おちゃらけた雰囲気も感じられますが芯の部分ではすごく誠実な雰囲気を感じられるのでそのギャップがとてもいいですね。カリナとの関係にほっこりできるので俄然目が離せません。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』4話	読者としては二人の絡みも見たいところですが、ようやく信じられる人と出会えただけでカリナの心はこれまでの人生で傷つきまくっています。あなたのペースで進めてくれていい。そんな風に思ってくれるノクトが素敵ですね。まずはお互いを知ってそれから。政略結婚だとそれすらもできないんですね。カリナの両親がうまくいなくて当然か。

『悪女は美しき獣の愛に咲く』4話	いきなり無理やり襲ってくるケダモノと思いきや、思いがけないノクトの紳士っぷりにキュンです。彼にも理由があったんですね。嫌われないって思ってる以上は強引に無理やりってのもうなずけます。ですが、本来の彼はとっても紳士。男性どころか人間に不信感を抱いていた彼女にとって、最高の相手ですね。本当に出会えてよかった。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』5話	カリナとノクトが一緒に出かけるシーンがとにかく良かったですね。カリナの町娘のような出立がより可愛らしさを増幅させてくれています。カーニバルを見るために色々と街を回る2人の姿は本当のカップルのように見えてくるのでその姿もたまりません。政略結婚からの間柄とは側から見ている分には全く思わないのでその点もすごく魅力的ですね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』5話	このエピソードでの街の風景に注目して欲しいですね。カーニバルとして浮かれている雰囲気作画から強く伝わってくるので本当に胸が躍ります。ノクトとカリナ2人の関係もこのカーニバルデートをきっかけに色々変わっていきそうで胸がキュンとしてくること間違いなしです。2人の何気ないやりとりが非常に可愛いですね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』5話	好きな男性のためなら何でもする。勝手に根も葉もない事件をでっちあげて大騒ぎするなんて、やる事がとことん卑劣です。そんな彼女を追い返すなんて。更にはその後二人でデートに飛び出すなんて、ノクトが女心を知らな過ぎて恐ろしい。神経を逆なでしまっているんですけど。この後の報復が恐ろしすぎてデートを喜ぶ余裕が出てこないんですけど。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』6話	当初はカリナを良く思っていなかったメイドさんたちが、心優しいカリナの言動を目の当たりにしてそれをまっすぐに受け止めて、悪女という噂は間違っているのではないかと感じ始めてくれたことがとても嬉しかったです。また、家庭環境のせいで、自分の身体を大切に労るということも思いつきもしないカリナを見て憤っているノクトの姿から、彼のカリナに対する愛を感じてキュンとしました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』6話	噂話を流しても、会えばカリナの優しさに気が付きますよね。全然悪女じゃないですから。それで周りの攻撃性が減るのはいいですが、男性の場合は彼女に対してそれ以上の感情を抱いてしまうことも。それだけカリナが魅力的ということ。これからは、ノクトにセリウスとどんどん男性陣を翻弄していきそうで、恋の行方が心配になっちゃいます。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』6話	悪女なんかじゃない。そんなのすぐにもわかります。その真逆というか、優しくてきれいで聖女のような女性。さっそくセリウスが気になり始めてます。ひよこの刷り込みじゃないけど、まず最初に優しくしてくれたノクトのことが気になり始めてるカリナですが、両想いでそのまま結婚というにはいろいろな障害がありそうですね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』7話	ノクトのことが好きだからと言ってカリナに酷いことをしていいとは限りません。セレイラがこのエピソードでかなり悪い意味で目立っていたので、そこに注目して欲しいですね。あんなことをしたら、ノクトに嫌われると思わなかったのでしょうか。作中、ちゃんとノクトがカリナのことを庇ってくれたのでその場面にはすごくときめきましたね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』7話	腰を痛めてしまったカリナとノクトのやりとりが本当に良かったです。仲睦まじい雰囲気ですごくほっこりさせられましたね。カリナももっとノクトに甘えていいのにと少し思っていました。今までの境遇がそうさせているのか何事も1人でやろうとするところはカリナの悪い癖ですね。そこを改善すれば2人の仲はもっと良くなりそうです。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』7話	気になる女性に、男性って頼りたいものなんですよ。でもずっと周りに頼れず一人で生きてきたカリナにとっては逆に頼るってのが一番大変なことなのかも。離れていけばいくほど追いかけたくなるもの。これからもっともっとノクトはカリナのことを好きになっていきそうです。でもセレイラという存在がいるんですよ。なかなかうまくはいかないか。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』8話	やっぱりこの作品でのノクトの色気はすごいと思います。カリナに対しての優しさを肌で感じると言いますか、すごく格好いいんです。カリナもそんなノクトに心惹かれている感じで2人の関係が次第に接近していくので本当に胸がドキドキすること間違いなしですね。カリナが素直になればすぐに2人の信頼関係は強固なものになるような気がします。

『悪女は美しき獣の愛に咲く』8話	本当にこの作品はキャラクターに対しての魅力度合いが桁違いに高いと思います。ノクトとカリナというメインキャラはもちろんなのですが他のキャラも良い悪いは別にして、とてつもない個性を發揮してくれるので本当に目が離せません。カリナはかなり劣悪な状況にあるのですが、それもまた彼女を魅力的に引き立たせる要素になっているので非常に考えられていますね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』8話	ノクトがセレイラの悪行に気付いていることをハッキリと本人に向かって告げ、キツパリと彼女を拒絶したシーンはスカッとしました。またその後、自分のもとから去ろうとするカリナにノクトが真摯に愛を伝えてひきとめようとするシーンは、あまりのイケメンっぷりにトキメキが止まりませんでした。セレイラがまだまだ諦めるつもりがなさそうなのが気になるものの、2人の気持ちが通じ合ってひとまず一安心できました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』9話	今回の夜会はカリナにとって良い機会だったように思います。カリナは侯爵家令嬢だったにもかかわらず、こういった社交界に出ることはありませんでした。しかしノクトの妻として立ち回れたことで自己肯定感も上がったようで何よりです。気になったのはヴァレリーの動向です。いくらなんでも夜会の場でこれはやり過ぎでしょう。物陰に隠れた程度で隠しおおせるわけありませんし、ハロルドにどんな秘策を授けたのか気になりました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』9話	ノクトは最初からセレイラの嘘に騙されたりしなかったもので、着実に使用人たちの心をつかんでいる現状、カリナを陥れようとするのがセレイラだけならそれほど心配しなくても良さそうでしたが、セレイラに対して内心冷ややかな評価を下しているあたりヴァレリーは頭が回る狡猾なタイプだと思うので、しばらく彼女の存在に苦しめられそうだなと思いました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』9話	夜会に出席するために、華やかにドレスアップしたカリナがとてもかわいかったです。キツリ正装して髪型もいつもと違う感じにセットしたノクトもとても素敵でしたし、2人ともお互いの姿にドキドキして照れ合っている様子が微笑ましくて眼福でした。また、夜会の出席者全員がカリナのことを誤解していたり敵視していたりしているわけではなかったので、安心しました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』9話	シャーロットやセレイラと違い、ヴァレリーは妖艶な美貌で服装もパンツスタイルで考え方もしっかりしているようなので、カリナをライバル視して睨めたりはしないのではないかと思ったのですが、坊主憎けりや袈裟まで憎いの精神なのか、シャーロットたちのせいで広まった悪評を信じているせいなのか、カリナのことを「薄汚い女」呼ばわりしていてガッカリしました。また、ラストでカリナがピンチに陥ってしまったので、ノクトには早急に駆けつけて欲しいです。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』10話	ノクトが見事過ぎました。すでにノクトはカリナが噂通りの女性ではないことを理解しています。しかし、それを周囲に伝えるのは非常に困難だったでしょう。貴族達に伝えて回るのは無理があります。仮に出来たとしても、必死過ぎて、逆に怪しさが増すだけ。そう考えるとトラブルはあったものの、最高の形でこの場を収めたのではないのでしょうか。その手腕には舌を巻きました。気がかりなのはヴァレリーです。カリナに何かを盛ったのではないのでしょうか。ここまでするととなると、冗談で済まされる範囲を超えています。一体何をするつもりなのか、注目したいです。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』10話	なんてこった。ヘイドン伯を捕まえたと思ったらまさかの目配せ。せっかくなのでいい雰囲気になってると思ったんですけどね。というか警備がザルすぎです。こんな簡単に入り込んでこれるとは。どこに連れて行かれるのか不安です。周りは敵だらけですからね。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』11話	ヴァレリーの策略には驚かされました。正直、ヘイドン伯をカリナに囁けるのは悪手だと思っていたんですけどね。しかし、ヘイドン伯の行動が失敗する可能性も考慮して計画を立てていたとは驚きです。実際にカリナの拉致には成功しており、彼女が恐ろしい人物であることを改めて認識しました。気がかりなのはカリナです。ノクトはまだカリナの居場所を掴めておらず、助けに来るまでにはかなり時間がかかるでしょう。つまり、カリナの危機はまだ続くということ。カリナがこの困難をどう乗り越えるのか、注目していきたいと思います。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』11話	嫌な展開ですねー。ヘイドン伯がいなくなったと思ったら、結局カリナの身に危険が迫っています。ノクトもかなり焦っていますし。こういう主人公がひどい目にある漫画って結構ありますが、ここまで敵が多い作品は見たことがないですね。ようやく屋敷の人は信用してきましたが、なかなか味方が増えません。むしろどんどん敵が増えてきて、しばらくはトラブルが続くそうです。

『悪女は美しき獣の愛に咲く』12話	ヴァレリーは、優しく交渉しているようにみえますが、結局は脅して従わせようとしているだけです。カリナは折れなさそうですし、ひどい目に遭う前にノクトが助けに入りそうですね。もっと間接的に、賢く物事を進めていくのかと思いきや、意外とヴァレリーも短絡的なのかなと思いました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』12話	ノクトの手腕は見事でした。セレイラから得られたわずかな情報をもとに、ここまで推測できるとは驚かされます。この様子なら、カリナの救出も時間の問題だと安心できました。一方で、ヴァレリーの語る内容も気になるようです。もちろん、その話をそのまま鵜呑みにすることはできませんが、複雑な事情を抱えていることは間違いないでしょう。果たして真実はどこにあるのか、その全貌を知りたくなりました。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』13話	ヴァレリーはもう少しできる女性だと思っていただけに、ただ父に認められただけだったとは。手段も目的も小物ですね。それよりも今回はカリナの考え方とセリフに感嘆しました。あそこまでノクトのことを見ている、領主とはどうあるべきかを言葉にできるなんて驚きです。全然世間知らずの令嬢じゃないですよ。器の大きなヒロインで安心です。
『悪女は美しき獣の愛に咲く』13話	カリナの言葉には、もっともな点があると感じました。ヴァレリーにも事情があったことは理解できますが、あくまで自分本位の側面が強く、人の上に立つ器であるとは考えにくい印象を受けます。厳しい状況の中で、ここまで冷静に判断を下したカリナの姿には感心させられました。ともあれ、カリナは無事に救出されました。追い詰められたヴァレリーが今後どのような行動に出るのか、注目したいです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス